

コロナワクチン1500万回分廃棄へ、昨秋以降の接種は対象者の2割どまり、新年度スタートのコロナワクチン定期接種、自己負担は最大7000円

3/16 読売新聞

024年度から始まる新型コロナウイルスワクチンの定期接種について、厚生労働省は15日、メーカー各社から価格を聞き取った結果、1人あたりの接種費用が1回1万5300円程度となる見込みを公表した。自己負担額は最大7000円とし、国は差額分の8300円を市町村に助成する。市町村が独自に補助する場合があります、7000円よりもさらに少なくなる可能性がある。

※**ワクチンの定期接種の分類**
 ※新型コロナウイルスは2024年度から

	A類	B類
対象の病気	麻疹(はしか)、風疹、水痘、結核、ジフテリアなど	インフルエンザ、肺炎球菌、 新型コロナ (いずれも高齢者ら)
主な目的	集団予防	個人予防
国の費用負担	9割	3割
接種の「努力義務」と「勧奨」	あり	なし

定期接種は65歳以上の高齢者と重度の基礎疾患を持つ60～64歳の人を対象だ。これ以外の方は「任意接種」で、原則全額自己負担となるが、費用は医療機関などによって異なる見込みだ。コロナワクチンは3月末まで全世界が無料で打てる。

一方、厚労省は、3月末までに使われなかったコロナワクチンを、有効期限内であっても速やかに廃棄するよう、都道府県などに求めている。

国は昨年9月以降の接種分として、米ファイザーや米モデルナ、第一三共から計4640万回分を購入した。ただ、今月12日時点での接種者は、接種対象の22%にあたる約2800万人にとどまり、1500万回分以上が廃棄される見込みだ。

◆**新型コロナの公費支援は全廃する**

		現行(昨年10月～)	今年4月から
患者	治療薬 	年齢や収入に応じ、3000～9000円	1～3割負担
	入院費 	最大月1万円の補助	補助廃止
医療機関	病床確保料	対象病床を限定し、減額して支給	廃止